

「ドリーム高知・徳島号」の 運行系統の廃止について

JR四国労組は3月24日、会社より「高速高知・徳島～東京線『ドリーム高知・徳島号』の運行系統の廃止」について説明を受けた。

高速高知・徳島～東京線「ドリーム高知・徳島号」の運行系統の廃止について

標題の路線については、1991（平成3）年5月に高知駅と東京駅を結ぶ夜行高速バスとして運行を開始し、2002（平成14）年9月に「徳島駅」、2005（平成17）年11月には「松茂」「高速鳴門」の停留所を追加し、高知・徳島から東京へ向かう路線としました。その後、当社が高松及び徳島から東京への路線を開設したことから2006（平成18）年7月に「徳島駅」、2007（平成19）年4月に「松茂」「高速鳴門」の停留所停車を廃止し、高知駅、はりまや橋～徳島道の一部停留所を停車する路線とし運行してきましたが、2018（平成30）年12月に高知～成田間に格安航空路線が就航したことから、再度「徳島駅」の停車を再開し旅客の確保に努めてまいりましたが、ご利用は伸び悩み、路線の収支均衡が取ることが見込めないこと、共同運行会社のジェイアール関東㈱も廃止の意向であることから、下記のとおり運行系統を廃止することとします。

記

1. 運行系統を廃止する路線

高速高知・徳島～東京線（ドリーム高知・徳島号）

2. 廃止日

2021年3月31日（新型コロナウイルスの影響で運休中）をもって廃止

3. 当該路線の2019年度収支

収入 75,342千円（運輸収入のみ）

運送費 81,156千円 △5,814千円

営業費 86,664千円 △8,934千円（その他収入2,388千円含む）

組合は、今回の説明を受け「ドリーム高知・徳島号」の廃止の時期、高速バス全般のあり方、将来におけるバス事業の展望、乗務員の雇用等、確認すべき事項があることから、各級機関から意見集約し説明要求を申し入れることとした。